

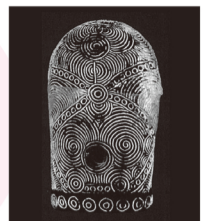
クチコミ
その3 原分古墳から
出土した副葬品の数々

石室からは、金銅装の豪華な馬具、装飾の多い大刀、須恵器(すえき)など豊富な副葬品が出土し、古墳時代の長泉町を感じることができます。また、太刀の鐔と柄頭においては、非常に丁寧な作りで、当時の技術の高さを物語っています。



副葬品を
見に行こう!!

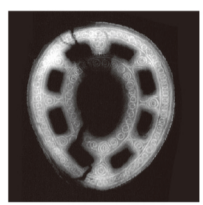
静岡県
埋蔵文化財センター
静岡市清水区蒲原5300-5
TEL. 054-385-5500
平日 9:30~16:30
観覧無料



太刀の柄頭(X線CT写真)



石室内遺物出土状況



太刀の鐔(X線写真)

富士山の溶岩(多孔質玄武岩)で作られた石室と 伊豆石(江之浦白色凝灰岩)で作られた石棺

クチコミ
その4 埋葬されたのは
県東部の有力者とその家族

家形石棺の蓋には、運搬用に縄掛突起があるのが特徴で、近畿の古墳には王者の棺としてこの蓋が収められています。この家形石棺の材質は、伊豆で採取される凝灰岩で、加工しやすく、長泉町内にはこのような凝灰岩製の石棺をもつ古墳が複数あります。

静岡市賤機山古墳にも

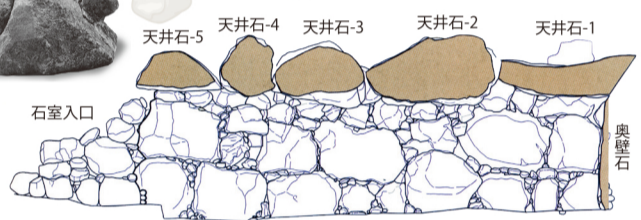
家形石棺が納められ、石棺の形や材質も類似することから静岡県中部と東部の有力者が結びついていたことを示す政治的な産物といえます。



石室入口

クチコミ
その5 使われている石材の数
「392石」

原分古墳の天井石の数は5石(最大9.6トン)。壁石材は玄室で93石、前庭で43石、合計136石使われ、壁石と壁石の間にできる隙間を埋める詰石は玄室で231石、前庭で25石、合計256石使われています。石材の総合計数は392石でした。



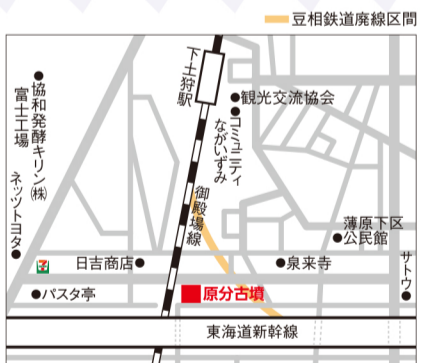
▲古墳発見当時、家形石棺はすでに盗掘・破壊されていて、実物は移され同種ものを展示。

▼見どころは、本来の形に復元せずに古墳上部を平らにし、石室の構造や天井石の大きさを間近で観察できることです。

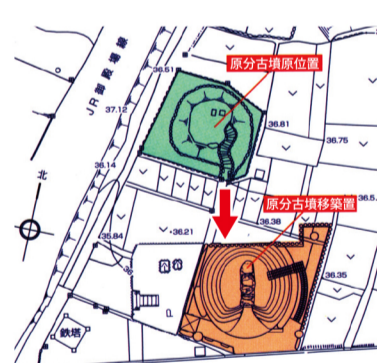


クチコミ
その6 原分古墳の移築復元

静岡県の事業による都市計画道路沼津三島線が、この古墳位置を東西に通るよう建設されることになりました。この道路建設にともない原分古墳を歴史資料として活用できるよう平成15年度から17年度にかけて、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が古墳の発掘調査をおこない、長泉町が移築復元しました。



長泉町営駐車場(長泉町下土狩1283-11)から徒歩8分



クチコミ
その7 安らかに眠れない古墳?

原分古墳は、西側に御殿場線、南側に東海道新幹線があり、さらに明治から昭和初期にかけては、東側に豆相鉄道が走っていました。これほどまでに鉄道に囲まれた古墳は珍しく「安らかに眠れない古墳」なのかもしれません。

私のオススメ店 原分古墳近くのグルメ・和スイーツ情報♪

パスタ亭
フロアにはグランドピアノもあり、おしゃれな空間のなか、景色とイタリアンを楽しめます。
■長泉町本宿202-1
■TEL.055-946-6620
■11:00~15:00 / 17:00~24:00 ■不定休

豊富なパスタの種類 / お得なランチ!

無添加!! 高級和菓子
全品100円!!

日吉商店
昔からの和菓子屋さん。安くて、おいしい、手づくり和菓子です。
■長泉町下土狩1528-2
■TEL.055-986-8738
■9:00~17:00 ■日曜・祝日定休